

令和2年度社会福祉法人静香会事業報告

○ 法人本部

1 外部・内部の課題に対する取組結果

(1) 外部の課題

① 災害対策

- ・災害への対応として、防災委員会等を開催し、地震、火災、風水害等の想定される災害全てに対する具体的計画（マニュアル）を作成・修正し、災害時にもサービス提供を継続するための体制を整えるため事業継続計画（BCP）を全施設で作成した。
- ・利用者・園児の安全・安心確保のため実効性のある訓練、職員の判断力を高める訓練を継続的に行った。

② 新型コロナウイルス対応

- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、各施設でマスク着用・手洗い・消毒の徹底、職員の健康管理、情報共有を行った。
- ・長泉町で感染者が出たことを受け、長泉町の要請によりこのはな保育園は4月・5月は休園となった。
- ・長泉町近隣の市町でも小中学校等休業の対応が取られたため、静香会職員への影響が大きいと判断し、全職員に対し「新型コロナウイルスの影響による特別有給休暇」を4月1日付で10日付与した。
- ・年度前半は、多くの行事やイベント、外出等を中止する対応を取ったが、後半では行事・イベントの持つ本当の意味を再考し、感染予防に対する正しい情報を基に、新たなやり方を模索し実施した。
- ・各施設の入り口に設置した顔認証付き検温器で、利用者・保護者・来客・職員の検温を行い、コロナウイルスを施設内に入れない・持ち込まない対策を強化した。
- ・悠雲寮では新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染症予防のため改修工事を行い、棟内に24時間強制換気システムを導入した。

(2) 内部の課題

① 人材確保・離職防止対策

- ・専門学校や大学、ハローワーク、福祉人材センターや民間求人雑誌等に求人票を提出し、働きやすく働き甲斐のある職場環境であること、給料面の良さをアピールした。新型コロナウイルスの影響で、面接会等には参加できなかったが、多くの問い合わせがあり、職場見学や採用面接に繋がった。
- ・各施設の会議やミーティング、業務日誌、連絡メール等を利用し、法人・各施設のルールや事業目標・方針・考え方等の情報共有を図るとともに、意見交換がしやすい職場環境づくりに努めた。

② 継続的なサービスの質の向上と職員の資質向上

- ・コロナ禍において、利用者・園児の安心・安全を最優先とし、全職員に対し新型コロナウイルス感染症予防研修を行い、日々の感染予防に努めた。毎日の活動や行事等は、単に中止・縮小するのではなく、感染リスクを回避した上で、利用者・園児・保護者に喜んでいただける代替案を取り入れた。

2. 令和2年度目標に対する取組み

(1) 利用者に関すること

① ICTの活用

- ・ICTを活用し、利用者との面談、モニタリング、Web会議、体温チェック、昇降園管理、保護者との連絡等を行い、業務の効率化・省力化を図った。また、それにより一人ひとりに向き合う時間を増やし、手厚く温かみのある支援や保育に繋がった。

② 人権・人格の尊重

- ・利用者の意見や意思を確認していくため個別面談や聞き取りを強化し、個別支援計画や日々の支援・保育に反映させた。また、保護者等との連携を密にし、利用者・園児へのより良い支援・保育のための情報を得た。
- ・虐待防止に取り組むための共通認識を持つとともに、職員それぞれが日頃の支援の中で「虐待かどうか」わからず不安に思うこと・感じることを話合うための虐待防止研修を重ねた。

(2) 人材に関すること

① 人材の育成

- ・人事評価制度の内容について全職員に説明を重ねるとともに、職員一人ひとりの個人目標達成に向けての助言や指導に努めた。
- ・静香会職員育成教育計画を基に、外部研修に参加するとともに法人内・施設内研修を充実させた。新型コロナウイルスの影響で中止となった外部研修も多かったが、WEB等で開催された研修に関してはできるだけ多くの職員が受講できるよう配慮し、職員の資質向上に努めた。

【研修】

施設名	外部研修		法人内・施設内研修
	講座数	延べ人数	講座数
悠雲寮	18件	67名	5件
グループホーム	6件	9名	2件
ゆううん	13件	26名	4件

ほほえみ& みのり工房	15 件	43 名	12 件
このはな保育園	5 件	11 名	12 件
本 部	11 件	15 名	1 件
合 計	68 件	173 名	36 件

※ 主な研修内容

外部研修

- ・ 新型コロナ等感染症対策講座、事業者説明会、運営管理研修、会計経理講座、ICT 研修、成年後見人制度研修
保育園連盟・保育協会の研修（以上 WEB で実施）
- ・ 保育士キャリアアップ研修

法人内施設内研修

- ・ 外部研修報告、感染症、防災対策、虐待、AED
コンプライアンス、マネジメント、チームビルディング
食育、保護者対応、処遇改善加算特定加算の基準説明 等

② 人材の確保・離職防止

- ・ 勤務時間、勤務日数、勤務時間帯等、それぞれが希望する働き方ができる
よう配慮した。
- ・ 定時退社の徹底、残業時間の削減、年次有給休暇の取得促進を継続した。
- ・ 全職員に対し「新型コロナウイルスの影響による特別有給休暇」を4月1
日付で10日付与した。
- ・ 非正規職員に対し、日給月給制、扶養手当、住居手当を導入した。
- ・ 正規職員・限定規職員（非正規・無期雇用）に対し、70歳までの再雇用
制度を導入した。

【職員の採用及び退職】

(令和 2. 4. 1～令和 3. 3. 31)

施 設 名	採 用		退 職	
	正規	非正規	正規	非正規
悠 雲 寮	1	2	3	1
ゆううん	0	0	0	1
悠雲の家・アネックス悠雲の家	0	0	0	0
ほほえみ&みのり工房	0	0	0	2
このはな保育園	0	1	3	1
法人本部	0	0	0	0
合 計	1	3	6	6
	4		12	

【職員人数】

施設名	令和2年4月1日	令和3年4月1日
悠雲寮	37	33
ゆううん	5	5
悠雲の家・アネックス悠雲の家	2	2
ほほえみ&みのり工房	15	14
このはな保育園	24	24
法人本部	5	5
合計	88	83

【時間外勤務実績時間数】（令和2.4.1～令和3.3.31）

施設名	職員数 (月平均) 管理職除く	令和2年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間数	主な理由
悠雲寮	35.5	103.2	8.60	0.24	利用者対応、 保護者対応
グループホーム	2.0	1.1	0.09	0.05	利用者通院
ゆううん	5.0	17.5	1.46	0.29	地域の利用者対応
ほほえみ& みのり工房	14.75	15.5	1.29	0.09	作業補助
このはな保育園	22.8	52.0	4.33	0.19	土曜勤務 8.5時間
本部	2.0	0.25	0.02	0.01	機器故障対応

【有給休暇取得率】

施設名	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
悠雲寮	64%	66.1%	86.6%	57.1%
グループホーム	94%	84.4%	82.1%	46.0%
ゆううん	79%	80.4%	68.0%	38.9%
ほほえみ& みのり工房	83%	67.4%	69.0%	49.1%
このはな保育園	93%	69.4%	73.0%	63.7%
本部	91%	74.5%	72.8%	52.8%

※令和2年度は、4/1日に付与した「新型コロナウイルスの影響による特別有給休暇」10日を、年次有給休暇と合わせて集計したため、前年度と比較し取得率が下がっています。

(3) 地域に関すること

① 地域における公益的な取り組みの推進

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、対面による支援を制限するとともに、ICT を活用した取り組みを強化した。
- ・地域福祉連携強化に向けたネットワーク「長泉町社会福祉法人施設連絡会ながいずみーる」設立に参画した。

【地域における公益的な取組】

- ①地域の要支援者に対する相談支援
- ②地域の要支援者に対する配食見守り移動等の生活支援
- ③地域の要支援者に対する権利擁護支援
- ④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- ⑤既存事業の利用料の減額・免除
- ⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- ⑦地域住人に対する福祉教育
- ⑧地域の関係者とのネットワークづくり
- ⑨その他

施設名	地域における公益的な取り組み実施件数									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
悠雲寮	0	0	0	0	0	0	1	13	0	14
ゆううん	0	0	0	2	0	0	1	1	0	4
ほほえみ&みのり工房	1	0	2	0	0	0	7	50	0	60
このはな保育園	0	0	0	0	0	0	2	7	16	25
合計	1	0	2	2	0	0	11	71	16	103

② 非常災害対策の強化

- ・障がい者施設防災委員会を立ち上げ、施設間の協力体制の強化を図った。
- ・このはな防災チームを立ち上げた。
- ・地震、火災、風水害等の想定される非常災害に対する具体的計画（マニュアル）の作成・見直しを全施設で行った。
- ・災害時にもサービス提供を継続するための体制を整えるため事業継続計画（BCP）を全施設で作成・見直しをした。
- ・職員の判断力を高め、非常時においても冷静な判断、行動をとるために、具体性のある訓練を全施設で毎月実施した。
- ・地震及び火災想定防災訓練の実施
- ・引き渡し訓練の実施
- ・保護者連絡手段のICT化推進
- ・防災教育、教育資料の作成
- ・災害用伝言ダイヤル171及び安否コール訓練の実施
- ・地域の防災訓練、長泉町災害無線訓練への参加

- ・防災設備の点検及び使用方法の教育
- ・防災用品及び備蓄品の補充と管理の徹底
- ・台風、暴風雨対策の強化と土嚢による浸水対策 等

(4) 経営管理に関すること

① 法令や通知等の確認・点検

- ・国・県からの通知、顧問の公認会計士や社会労務士による定期的な指導により、経営の健全化と適正な労務管理に努めた。それらの情報は管理職による会議や各施設の会議で共有した。
- ・コロナ禍で多くの研修がウェブ等の開催になったことを受け、できるだけ多くの職員が同じ研修を受講できるよう努めた。同じ研修を受けたことで、より具体的な意見交換等でき、施設運営に役立てることができた。

② 災害時の事業継続対策

- ・地震・火災・風水害等の非常時に施設のサーバーが使用不可能となった場合に備え、法人共有ホルダー・経理ソフト・利用料請求ソフト・給与ソフトをインターネット上のクラウドにもバックアップできるよう、機器等を整備した。

2 定例事業

(1) 理事会の開催

① 令和2年6月2日(火) 書面による決議

審議事項

- 第1号議案 令和1年度社会福祉法人静香会事業報告
- 第2号議案 令和1年度社会福祉法人静香会決算報告
及び監事監査報告
- 第3号議案 定時評議員会の招集

② 令和2年9月25日(金) 書面による決議

審議事項

- 第1号議案 悠雲寮感染症対応その他施設改修工事
入札指名業者の選定基準
- 第2号議案 悠雲寮感染症対応その他施設改修工事
入札参加者の選定
- 第3号議案 悠雲寮感染症対応その他施設改修工事
入札立会い者の選任

③ 令和2年10月29日(木)

報告事項

- 第1号報告 理事長専決事項
- 第2号報告 理事長職務執行状況

審議事項

- 第1号議案 悠雲寮感染症対応その他施設改修工事請負契約

【契約内容】

契約相手：平井工業株式会社

契約金額：91,850,000円（うち消費税8,350,000円）

工事期間：令和2年11月1日～令和3年2月28日

- 第2号議案 県指導監査の実施結果
- 第3号議案 令和2年度社会福祉法人静香会各会計収支補正予算
- 第4号議案 社会福祉法人静香会経理規程の一部改正

④ 令和3年3月24日（火）10時 悠雲寮2階会議室

報告事項

- 第1号報告 理事長専決事項
- 第2号報告 理事長職務執行状況

審議事項

- 第1号議案 令和2年度社会福祉法人静香会各会計補正予算
- 第2号議案 令和3年度社会福祉法人静香会事業計画
- 第3号議案 令和3年度社会福祉法人静香会各会計収支予算
- 第4号議案 各種業務委託契約の更新
- 第5号議案 社会福祉法人静香会規程等類の一部改正
- 第6号議案 新事業に係る基本設計業務委託契約
- 第7号議案 評議員選任・解任委員会の招集
- 第8号議案 評議員候補者の推薦
- 第9号議案 役員等の保険契約の締結

(2) 評議員会の開催

① 令和2年6月20日（土）書面による決議

審議事項

- 第1号議案 令和1年度社会福祉法人静香会事業報告
- 第2号議案 令和1年度社会福祉法人静香会決算報告
及び監事監査報告

報告事項

- 第1号報告 社会福祉充実残額

(3) 監事監査

① 中間会計監査

令和3年3月24日（火）悠雲寮応接室
森本監事・杉山監事

② 令和2年度事業及び収支決算監査

令和3年5月25日（火）悠雲寮応接室
森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会

令和2年7/6、9/18 計2回
悠雲寮会議室

(5) 県による指導監査

① 令和2年7月28日 このはな保育園

(6) ISO 9001

① 内部監査

悠雲寮・・・令和2年6/11、7/22、9/10、8/7、10/19、12/8 計6回

悠雲の家・・・令和2年6/2 計1回

ゆううん・・・令和2年11/11 計1回

ほほえみ&みのり工房・・・令和2年7/29、3年2/19 計2回

このはな保育園・・・令和2年10/20、10/30 計2回

② 外部監査

令和2年6月15、16日（定期監査）

③ 更新審査

令和2年12月1・2日

悠雲寮2階会議室

監査機関：ビジネス・アシュアランス・ジャパン(株) 塩谷健吾監査員

(7) 職員の健康管理

① ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施した。(9月)

② インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。(10月)

③ 定期健康診断を実施した。(夜勤のある職員は年2回、その他職員は年1回)

【定期健康診断検査結果】

総合判定	区分	令和1年度	令和2年度	内 容
A	異常なし	5	3	
B	軽度異常 問題なし	19	20	
C	要経過観察	27	34	体重（肥満・痩せ過ぎ）腰椎変形 食事（尿酸値・高脂血症・肝機能）
D	要治療 要精密検査	20	17	脂質異常・高血圧・尿潜血・腰椎変形 貧血・視力低下・肝機能・胃 X-P 所見
E	治療中	8	11	高血圧・糖尿病・高脂血症
計		79名	85名	

(8) 内部・外部コミュニケーション

【内部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①管理職会議	月 1 回	4/23、5/19、6/24、7/16、9/15、10/20、11/17 12/16、1/19、2/25、3/30	11 回
②経営会議	月 1 回	5/28、6/25、7/30、9/25、10/23、11/20、1/26、 3/10	8 回
③全体職員会議	4・7・10・1	中止(コロナ予防で密を避けるため)	0 回
④施設巡回	隔月	6/23、9/1、11/2	3 回
⑤業務日誌	開所日	①の報告、人事関係、HP更新、防災関係、 職員親睦会、労務関係、インフルエンザ情報、 新型コロナウイルス感染予防対応、不審者情報等	随時

【外部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①行政機関との話し合い	随時	4/2、8/4、8/18、9/30、10/14、11/4、11/13、1/27、 2/26、3/25	10 回
②公認会計士による指導・相談	月 1 回	4/23、5/25、6/23、7/30、8/25、9/17、10/21、 11/18、12/21、1/25、2/24、3/24	12 回
③社会保険労務士による指導・相談	月 1 回	4/9、5/14、6/11、7/9、8/12、9/10、10/8、11/12、 12/10、1/14、2/12、3/11	12 回

(9) 広報誌「悠雲」

4月、7月、10月、1月 計4回、毎回850部発行
HPに掲載

(10) ホームページ・ブログ等の更新

- ① ホームページ・・・4/1、7/1、10/1、1/1 計4回更新
更新内容：理事長挨拶、事業報告・決算報告等情報公開
苦情対応・報告、広報誌「悠雲」、フェイスブックへのリンク
商品案内等
- ② ブログ・・・悠雲寮 毎日更新
ほほえみ&みのり工房 週2回更新
このはな保育園 月2～3回更新
- ③ フェイスブック・・・随時更新

(11) 静香会行事

- ① 静香会運動会 新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

○悠雲寮（障害者支援施設）

1. 令和2年度目標に対する取り組み

(1) 利用者に関すること

① 体力維持活動

高齢化、障害の重度化、体調に配慮し、グループ分けや活動内容を見直した。

<個別でメニュー設定が必要な利用者の活動>

- ・少人数にする事で、1人ひとりに合った内容を提供できるようにした。
- ・室内ではストレッチ、指先を使うメニュー、歩行器を使って歩行訓練をしたり、レクリエーション感覚で楽しめるメニューを行った。
- ・室外では、アスファルトやグラウンドで歩行器を使って歩行訓練をしたり自分のペースでの歩行、ボールを使った運動などを行った。
- ・利用者が好む音楽を流し、声掛けを多くする事で、活動しやすい環境を作った。

<グラウンドでの活動>

- ・職員数や利用者の体調などによりグループで活動できない日や、活動内容に変化をつける目的などで、フライングディスク、サッカー、ボール投げ、リレー、体を動かしながら行う音楽活動など、多くの人が分かるメニューを取り入れた。

<敷地外での活動>

- ・職員の配置を工夫する事で、通常1グループで出かけていたが2グループにする日を設けた。歩くペースの違いでグループを分けたり、散歩やスポーツなど活動内容の違いでグループを分けた。
- ・行き先やメンバーが偏らないよう日々記録を残した。また、休憩場所や行き先は季節を感じながら活動できるものとし、たくさん写真を撮り、悠雲寮内に掲示した。

<入所の日課>

	月	火	水	木	金	土	日
A M	体力活動 晴：外 雨：棟内	体力活動 晴：外 雨：棟内	体力活動 晴：外 雨：棟内	体力活動 晴：外 雨：棟内	体力活動 晴：外 雨：棟内	施設入所	施設入所
P M	絵画制作 各棟活動 入浴・清拭	絵画制作 各棟活動 入浴・清拭	各棟活動 入浴・清拭	絵画制作 各棟活動 入浴・清拭	絵画制作 各棟活動 入浴・清拭	入浴・清拭	入浴・清拭

※土曜日や祝日の生活介護日は平日と同じ流れを組んだ。

<通所の日課>

	月	火	水	木	金	土	日
内容	体力活動 晴：外 雨：棟内	体力活動 晴：外 雨：棟内	絵画活動	体力活動 晴：外 雨：棟内	体力活動 晴：外 雨：棟内	閉所又は 生活介護 ゲーム等	閉所日

※コロナウイルス感染予防として、マスク着用ができない利用者を送迎するため乗車人数を減らし、送迎本数を増やし、密を避け感染予防に心掛けたため、活動時間が10時から14時までと短くなり、計画では活動を午前と午後の2回を予定していましたが、一つの活動となりました。体力活動を中心に行った。

② 満足度を高める

(ア) レクリエーション活動

- ・外出については、コロナウイルス感染予防のため、中止や変更が多く、利用者の希望通りにはならなかった。また、例年実施している“希望外出”は計画を見直す結果となった。それでも、その中でも楽しめる事を考え、できる外出、レクリエーション、活動を実施した。
- ・コロナウイルスの影響で、外出や帰省が利用者の思い通りには実行できなかった。利用者に対して、口頭や文書で説明したり、掲示物を掲示するなどして理解を求めた。

<主な外出内容>

	行き先	内容	昼食	利用者数
9月	御殿場市	公園	お弁当	26名
10月	御殿場市	公園	お弁当	22名
10月	函南町	公園	お弁当	13名(通所)
11月	函南町	公園	レストラン	13名
11月	伊豆の国市	公園	レストラン	12名
11月	御殿場市	公園	お弁当	11名
12月	沼津市	みかん狩り	お弁当	14名

<主な施設内レクリエーション>

4月	お花見
5月	魚がしボランティア来寮
6月	棟内全館消毒に伴い全員外出
7月	七夕
8月	花火大会

9月	お月見
10月	ハロウィン
11月	運動会
12月	クリスマス会
1月	鏡開き
2月	節分
3月	ひな祭り

(イ) 保護者との連携

- ・入所利用者の保護者には、コロナウイルスの影響で、外出や面会を制限し、自宅への帰省は中止させていただいた。また保護者や後見人などに、月1回～2回の定期連絡を継続的に実施し、制限する状況を電話で伝えたり、文章で説明するなどして理解を求めた。特に電話連絡では、体調や過ごし方が伝わりやすいように意識した事で、保護者の方からの不安な声はなかった。
- ・通所利用者の保護者には、各家庭で毎日の体調チェック表への記入をお願いし通所時の提出にご協力いただいた。(検温・体調確認・主な外出先の記入)
また、送迎時やお迎え時には直接お話しする事で連携を取ったほか、月1回の定期連絡は継続して実施した事で、保護者の方が安心することができた。

(ウ) 健康管理・生活支援

- ・日々、健康管理や体調把握のため、入所は1日4回検温を実施。通所は通所時に検温を実施した。血圧測定は必要利用者に日々実施。個別で運動メニューを組んでいる利用者には看護師や支援員が日々対応した。
- ・体調に変化がある利用者は早めに通院。コロナウイルス感染予防として、利用者本人が病院に行かなくてもいい場合は看護師や職員が病院に行き、医師に状態を伝えたり、電話でやりとりをしたケースもあった。

(エ) 給食管理

行事食や利用者の希望に応じた誕生日献立や喫茶メニューを提供した。

4月	悠雲寮 32 周年祝献立・お花見弁当
5月	子どもの日献立
7月	七夕バイキング・土用の丑の日(うなぎ)
12月	クリスマスバイキング・お疲れ様弁当・年越しそば
1月	おせち料理・七草粥・鏡開き
2月	節分献立(恵方巻)・豆まき・ケーキバイキング
3月	ひな祭り献立
毎月1回	誕生日献立・喫茶

(オ) 食育計画

利用者が自分で食べたい物を自己決定できるようになる事を目的とし、毎月1回選択メニューを提供。自分で選択していただいた。自分で選択する事が難しい利用者は職員が複数でメニューを決めさせていただき提供した。

※下線は人気が高かったメニュー

4月	<u>カレーライス</u> o r ハヤシライス
5月	<u>天ぷらうどん</u> o r 天ぷらそば
6月	<u>牛丼</u> o r 豚丼
7月	<u>冷やし中華</u> o r 冷やしそうめん
8月	たこ焼き o r <u>お好み焼き</u>
9月	エビピラフ o r <u>カレーピラフ</u>
10月	豚カツ o r <u>エビフライ</u>
11月	スパゲティ <u>ミートソース</u> o r クリーム
12月	<u>味噌ラーメン</u> o r 醤油ラーメン
1月	<u>鶏肉の唐揚げ</u> o r かじきの竜田揚げ
2月	<u>牛肉の中華炒め</u> o r マーボー豆腐
3月	<u>ソース焼きそば</u> o r 塩焼きそば

利用者の身体状況に応じ、超きざみ食、きざみ食、一口食、減塩食、油抜き食など特別食を提供した。また体調に合わせてその都度対応。体調不良者や医師からの指示などによって粥食を提供した。

(カ) 衛生管理

- ・食事前の手洗いと消毒強化のため、泡の出る石鹸による手洗いや手洗い後の消毒を職員と一緒に実施した。
- ・配膳時のエプロン・帽子・マスクを正しく着用し配膳できるよう、必要時に声を掛けた。

③ 環境整備

(ア) 施設内

- ・コロナウイルス対策として11月～2月にかけて建物の改修工事を実施。大型換気扇を6台設置、全居室のサッシを交換し、24時間換気が行えるようにした。男女ダイルームは床暖房を設置し24時間換気しても暖かく過ごせるようにした。
- ・非接触型体温計パネルを玄関に設置
- ・しっかり手洗いできるように、男性棟、女性棟、通所、食堂の洗面所の水道からお湯が出るように改修工事を実施した。
- ・ビニールカーテンで仕切りをつけた車両を用意し、感染症予防として利用者の通院に優先して使えるようにした。
- ・建物内の衛生維持や異常個所の早期発見、敷地の草取りやグラウンド整備な

ど継続的に実施し、環境維持に努めた。

- ・施設全体の消毒を 6/26 に実施。通所は閉所日とし、入所は外出日とした。

(イ) 厨房内

- ・週 1～2 回の床清掃
- ・調理台・炊飯器・配膳台など、係り分担を決めての清掃（チェック表使用）
- ・厨房職員全員の月 2 回の検便検査（冬は 1 回）
- ・調理従事者の調理前の体温・体調チェック
- ・年 2 回の業者による厨房内消毒と月 1 回の害虫除去点検
- ・年 2 回の業者によるグリストラップ清掃
- ・食器及び調理器具類の消毒・殺菌
- ・冷蔵庫・冷凍庫の温度確認
- ・食材納品時の賞味期限・納品温度の確認
- ・調理時の中心温度の確認

(2) 人材に関すること

① 研修受講や報告の機会

<外部の研修>

月 日	研修名	参加人数	主催者
6月1日	令和2年度 社会福祉法人運営管理研修会 ～新型コロナウイルスの正しい理解と感染症から利用者、職員を守るために、今できること～ (WEB)	3	社会福祉法人運営管理研修会
8月26日	ICTについて (WEB)	4	NDソフトウェア
10月7日～9日	サビ管基礎研修	1	静岡県健康福祉部障害者支援局
10月8日	給食施設衛生・栄養管理講習会	1	静岡県給食協会沼津伊豆支部
11月13日	サビ管更新研修	1	静岡県健康福祉部障害者支援局
11月17日	静岡 DCAT 登録員スキルアップ研修会 (WEB)	1	静岡県・静岡県社協会
11月20日 27日	福祉職員のための成年後見制度理解促進研修 (WEB)	1	静岡県・静岡県社協会
11月24日	令和2年度 安全運転管理者等講習	1	静岡県公安委員会
12月4日	サビ管更新研修	1	静岡県健康福祉部障害者支援局
12月	令和2年度障害児・者福祉サービス事業者説明会 (集団指導) (YouTube)	4	静岡県健康福祉部
12月	・新型コロナウイルス感染予防について	32	静岡県健康福祉部

	・新型コロナウイルス感染症における 福祉・介護現場での正しい感染対策 ・福祉施設のための感染症クラスター 対策マニュアル (WEB)		
2月5日	障害の捉え方講座 (Zoom)	1	静岡県社協
2月24日	セルフリーダーシップ (Zoom)	3	静岡県社会福祉法人 人材センター
2月25日	施設長等研修会 (Zoom)	1	県知協
3月12日	新型コロナウイルス感染症対策講座 第2弾 (Zoom)	6	静岡県社会福祉法人 人材センター
3月23日	事業所部会	1	県健康福祉部
3月24日	福祉用具・福祉車両販売員による正しい 使い方講座	3	長泉町社協
12月17日 ～2月19日	魅力発信コンテンツ制作プロジェクト (4回のうち1回はZoom)	2	長泉町社協

<内部の研修>

月 日	研修内容	参加人数	講師
4月7日	防災関係新人研修	4	防火管理者
7月14日	消火訓練・放水訓練	13	サンコー防災
1月22日	職場のコンプライアンスについて	33	施設長
1月28日	虐待について		
1月27日	A E D講習	8	アルソック
年間で	外用薬について	23	看護師

外部研修については、コロナウイルスの影響で多くの研修が中止になり、WebやZOOM等による研修が増えてきた。WebやZOOM等による研修は、事業所内で空いている時間に受講できるので、多くの職員が受講することができた。

② 情報の共有化

- ・障害者施設連携会議 (月1回)
- ・障害者施設防災会議 (2ヶ月に1回)
- ・調整会議 マネジメントレビュー (月1回)
- ・男性棟会議 女性棟会議 通所会議 (月1回)
- ・個別支援会議 モニタリング (随時)
- ・給食会議 (2ヶ月に1回)
- ・県集団指導 (動画配信確認)
- ・日々の引継ぎ
- ・全職員が回覧する書類については回覧が早く済むよう呼びかけ

- ③ 人材確保の為に職員と面談を実施し、職場環境や職員の処遇の見直しを実施する。
- ・前期(9月)後期(2月)に1回ずつ面談実施。さらに必要に応じて実施した。
 - ・特別手当や賞与について法人業務日誌に掲載の上、施設長が各職員に説明。
 - ・コロナウイルスについては、正しい情報を速やかに伝達できるよう、業務日誌による記載、回覧物や掲示物の確認を実施。学校や幼稚園等が休みとなった場合や、職員本人や同居者の体調に不安がある時は、誰もが安心して休めるよう各会議で呼び掛けたり、日々声掛けを実施した。

(3) 地域に関すること

① 福祉養成校の学生、学校やボランティア受け入れ

コロナウイルス感染予防の関係で、受け入れ可否の判断は慎重に行った。学生実習生の受け入れは0件。理美容のボランティア受け入れは実施したが、感染流行時期に中止した月もあった。

<体験・実習等>

体験学習	受け入れ中止
サマーボランティア	
高校	
専門学校	
短期大学	
大学	
学校との懇談会	欠席
不二聖心女子学院奉仕活動 (例年2回)	学校の意向もあり中止。代わりに利用者全員にクリスマスカードが届く。

<ボランティア>

業務内容	回数	延べ人数	備考
理容	10	31	沼津市内理容師有志
美容	6	16	Hair cut KAZO
計	16	47	

② 地域の福祉ニーズへの対応

長泉町内の社会福祉法人が横の繋がりを強化する目的で集まり、緊急時等の体制強化について検討する場に2名の職員が4回参加。福祉の仕事を発信するためのポスターやパンフレットも作成し、発行待ちとなっている。

③ 地域のイベント

コロナウイルスの影響でイベント自体が中止、または悠雲寮の方針として不参加となったものがほとんどだが、愛護ギャラリー展は Web 開催のため作品を応募した。また、オールしずおかベストコミュニティからの依頼で、近隣3事業所で絵画展を開催する事になり14名の作品を出展。11/20～11/25に裾野市生涯学習センターで開催され、混雑時を避けて11名が見学に行った。

④ 非常災害対策の強化

- ・法人内で障害者施設防災委員会を立ち上げ、2ヶ月に1回会議を実施。地震、火災、風水害対応マニュアルの見直しと、事業継続計画を作成した。
- ・火災想定や地震想定の実施は、時間や場所、想定される被害を設定し実施。新人教育、自家発電装置の使い方、非常通報の扱い、AED講習、災害用伝言ダイヤルの録音や再生訓練、ほほえみ&みのり工房と連携し応援を依頼する訓練などを実施した。また、DCAT登録員研修、長泉町社協主催の防災福祉用具の研修にも参加した。

4月	新人教育・災害用伝言ダイヤル171訓練
5月	火災想定避難訓練・非常時備蓄品の確認・災害用伝言ダイヤル171訓練
6月	土嚢作成・災害用伝言ダイヤル171訓練
7月	夜間想定避難訓練・練消火訓練（消火器・消火栓） 災害用伝言ダイヤル171訓練
8月	火災想定避難訓練・防災備品確認 長泉町総合防災訓練は中止
9月	夜間想定避難訓練・テント設営訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
10月	災害用伝言ダイヤル171訓練
11月	起震車体験・災害用伝言ダイヤル171訓練
12月	火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練
1月	防災倉庫確認・非常時備蓄品確認・AED講習 災害用伝言ダイヤル171訓練
2月	災害用伝言ダイヤル171訓練
3月	火災想定避難訓練・災害用伝言ダイヤル171訓練

※毎月1回実施…自家発電稼働・地域防災無線通信訓練・職員による外観点検

※業者による消防機器の点検（年2回）

※備蓄品管理（100人×7日分）

(4) 経営に関すること

① 開所日 開所人数の調整

(ア) 施設入所

定員 50 名に対して男性 29 名 女性 23 名の 52 名の方を受け入れた。

(イ) 生活介護

- ・生活介護はコロナ禍で時間を短縮した時期があったが閉所しなかった。
- ・生活介護の開所は毎月ではなかったが月の日数マイナス 8 日を目指した。
また利用者が安心して利用できるように、感染対策を万全として 1 日の利用者数も減らす事なく、安定した経営を行うことができた。
- ・生活介護延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R1 年度	1403	1392	1304	1516	1395	1347	1429	1342	1397	1339	1000	1425	16289
R2 年度	1434	1459	1395	1446	1426	1404	1473	1404	1482	1461	1246	1513	17143

(ウ) 短期入所事業・日中一時支援事業

短期入所については、コロナウイルス感染予防のため、受け入れを中止した時期があったが、長期間利用されている利用者数が昨年度より多かった。

通所利用者の利用が昨年度より多かった。

<短期入所受け入れ状況> (宿泊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	10	5	5	12	12	10	10	11	5	5	5	5	95
延人数	150	134	147	196	203	164	148	152	155	155	140	155	1899
前年度延人数	85	99	98	95	139	157	179	153	131	113	103	92	1444

- ・長期間利用している方は 5 名。(男性 2 名・女性 3 名)

<日中一時支援受入れ状況> (日帰り)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	3	2	2	5	5	5	7	6	3	3	3	4	48
延人数	34	25	47	60	42	57	63	59	45	41	42	49	564
前年度延人数	29	35	43	43	43	38	40	40	26	26	26	30	419

- ・長泉町、裾野市、三島市と契約。
- ・新規契約は 2 名。(長泉町の男性 1 名・三島市の女性 1 名)

② 物・時間・業務の無駄をなくす

- ・経費削減のため、毎月、光熱費等の使用量を前年度と比較分析を実施。改修工事が始まってからは比較できないが、無駄な状況がないよう、毎月温度設定や使用状況を会議で確認した。
- ・突発的な利用者や保護者対応、職員の勤務状況を除き、残業なく勤務時間内で効率よく仕事ができるよう面談や会議で改善策を出し合った。
- ・年度末に次年度会議を開催。事前に職員全員から年間の反省や改善点についてのアンケートをとり、集計・分析後に会議を開催。次年度に繋がる話し合いを実施した。

2. その他

(ア) 利用者の現状

<登録者数>

	定員	登録者	備考
生活介護	60名	68名	男性39・女性29名 契約終了2名…死亡(男性1名・女性1名) 新規契約1名…女性
施設入所	50名	52名	男性29名・女性23名 契約終了1名…死亡(男性) 新規契約1名…女性

<年齢内訳>

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	計
男性		3	1	5	18	1	1		29
女性		1	1	6	9	1	1	4	23
通所		2	7	4	2	1			16
計		6	9	15	29	3	2	4	68

※平均 48.4 歳 (男性：49.6 歳 女性：53.6 歳 通所：38.3 歳)

※最高年齢 男性：68.9 歳 女性：76.0 歳 通所：60.9 歳

(イ) 入院状況

・ 2020.4.19～4.30

47 歳女性 脳梗塞のため西島病院に入院

2020.4.30 他界

・ 2020.8.23～8.31

50 歳女性 症候性てんかんのため西島病院に入院

・ 2020.11.19～11.20

57 歳男性 上咽頭癌のため沼津市立病院に入院

2021.1.13～.2.2 沼津市立病院に入院

2021.2.2～3.11 御殿場神山病院に転院 (緩和ケア)

2021.3.11 他界

(ウ) 日常健康管理の状況

	入所	通所
体重測定	毎月 1 回実施	4 ヶ月に 1 回実施
検温	毎日実施	毎日実施
口腔衛生	毎月 1 回実施	年度初めに実施
歯科検診	中止	なし
インフルエンザ予防接種	10/6・10/20	10/6
利用者健康診断	11/16・17・19・25	なし
内科嘱託医相談	毎月 1 回実施	なし
体調の変化	日々確認	日々確認

(エ) 虐待防止

- ・利用者の身体確認を 1 日 1 回実施し利用者が身体的虐待を受けていないことを確認した。
- ・利用者や保護者から虐待に関する相談や苦情はなかった。
- ・マネジメントカメラの録画記録からは虐待にあたる映像はなく、職員からの虐待に関する情報もなかった。

(オ) 新型コロナ対策

- ・常に新しい情報を収集し、職員が正しい知識を持って支援に当たれるように施設内外の研修をはじめ業務日誌で伝達を行った。
- ・コロナウイルスやインフルエンザウイルスを悠雲寮内に持ち込まないよう、職員全員に対して毎日の健康チェックを実施。
- ・通所の送迎について、マスク着用ができない利用者を送迎するため乗車人数を減らし、送迎本数を増やし、密を避け感染予防に心掛けた。
- ・入所内にウイルスを持ち込む事を防ぐため、入所と通所は接点をなくしそれぞれの活動とした。
- ・毎日、1 日の中で時間を決めて一斉に消毒を実施。また、利用者や職員の手洗いや手指消毒を強化した。
- ・食事での密を避けるため、食事時間をずらし、また食事時の私語をなくすように取り組んだ。
- ・自治会や食事前の時間を使って、定期的に手洗いや手指消毒の正しいやり方を説明。
- ・熱発者に対しては個室で対応。職員は防護服で支援にあたり、感染には充分気を配った。
- ・コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の罹患者は 0 名。

3. 施設設備の工事及び器具備品の購入等

<維持補修>

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
車両関係	505,433	点検・車検・バッテリー交換ほか
水道工事	53,900	水栓修理
電気工事	768,680	スプリンクラー・コンセント他
トイレ補修・浄化槽ポンプ	408,650	合併処理ポンプ・トイレ修理
ドア・扉・鍵補修	867,900	ドア・シリンダー交換ほか
雨漏・クロス修理ほか	1,034,000	雨漏り工事・トップガード取換
グラウンド側溝工事	440,000	破損の為取換
灯油タンク修理	214,500	改修
計	4,293,063	

<物品購入>

固定資産

① 冷暖房エアコン	(居室)	4 台	1,976,700 円
② 大型洗濯機		1 台	2,560,800 円
③ 大型乾燥機		1 台	1,144,000 円
④ 厨房給湯器		1 台	178,200 円
⑤ ノートパソコン	(通所)	1 式	529,540 円
⑥ 顔認証付き検温器		1 台	253,000 円
⑦ コピーデジタル複合機	(支援室)	1 台	957,000 円
⑧ ワゴン 3 段	(厨房)	1 台	213,400 円

<備品>

① オフィスチェア		1 脚	28,600 円
② パソコン用無停電装置		5 台	92,620 円
③ 折りたたみテーブル		1 台	19,470 円
④ コードレス電話機		1 台	66,000 円
⑤ iPad		3 台	166,320 円
⑥ 電気ポット		2 台	25,190 円
⑦ 食器乾燥機		1 台	14,520 円
⑧ デジタルカメラ		1 台	16,830 円
⑨ 洗濯機		1 台	79,530 円
⑩ 中心温度計・放射体温計		3 台	38,467 円
⑪ トランジスタメガホン	(防災)	1 台	38,720 円

⑫	台車		1台	38,280円
⑬	食堂テーブル		1台	91,960円
⑭	デジタル自動血圧計		1台	19,800円
⑮	配膳用スチールラック		1台	33,088円
⑯	リクライニングチェア	男性	1台	17,980円
⑰	サイクロン掃除機		1台	24,860円
⑱	ブルーレイレコーダー	女性	1台	78,100円
⑲	書棚	女性	1台	70,400円

大規模改修工事

①	感染症対応その他施設工事			91,850,000円
---	--------------	--	--	-------------

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家（共同生活援助事業）

1. 目標に対する取り組み

(1) 利用者に関すること

①就労先との連携、就労の継続について

- ・就労先への定期連絡を通して、課題の抽出や対応を行い、就労の継続に努めた。
- ・コロナ禍の中でなかなか訪問ができなかったが、電話での定期連絡を行い、必要に応じて訪問を実施した。
- ・東レで問題行動を起こした方がおり、退職というところまで話があったが、何回もの訪問や誓約書という形で就労の継続に繋がった。

利用者	年齢	程度	勤務先	給料(月額)	年金月額	出身地
A(女)	72	中度	H&M	18,000円	65,000円	長泉町
B(女)	37	軽度	モガワ	109,000円	65,000円	三島市
C(女)	35	軽度	さつき園	124,000円	65,000円	熱海市
D(女)	74	中度	H&M	75,000円	65,000円	長泉町
E(女)	40	軽度	いずみの郷	80,000円	65,000円	熱海市
F(女)	60	中度	H&M	10,000円	65,000円	裾野市
G(男)	51	軽度	リースサンキュー	71,000円	65,000円	清水町
H(男)	55	軽度	東レ	85,000円	65,000円	裾野市

平均年齢 53 歳

※H&M・・ほほえみ&みのり工房

②生活環境について

- ・環境表をもとに月に1度世話人がエアコンの掃除や各部屋の備品等の確認を行った。
- ・コロナ禍で換気や消毒方法を業務日誌や会議を通して確認をしながら実施した。
- ・感染症対策として食事を2グループに分けて実施した。

③虐待防止・利用者の自己決定・生活の充実等について

- ・2月にGH会議内で虐待についての研修を実施した。
- ・利用者全員に対して小遣い管理、整理整頓、掃除、洗濯等日常生活全般についての支援を行った。
- ・新型コロナウイルス関連について、利用者に対してテレビの情報を確認しながら感染症対策や外出自粛の説明を実施。利用者によっては間違った解釈をする方もあり、その都度確認しながら正しい認識で責任のある行動を促すことで感染者はなかった。
- ・2月利用者満足度アンケートを実施。支援に対する不満はなく、旅行についての要望が多かった。
- ・誕生日やクリスマス等のパーティーでは利用者の希望を取り入れた献立作りを行った。

〈実施内容〉

4月	誕生会	10月	ハロウィン
5月	誕生会	12月	誕生会・クリスマス会
6月	誕生会	2月	節分・誕生会

(2) 人材育成に関すること

①職員のスキルアップ、情報共有について

- ・毎月の会議をグループホームで実施。利用者の現状や課題、法人の指示事項等の情報を共有する事ができた。
- ・2月には虐待についての研修を施設長により実施。

②研修について

外部の研修

月 日	研修名	参加人数	主催者
6月1日	社会福祉法人運営管理研修会	1人	社会福祉法人運営管理研修会
8/26	ICT活用について (WEB)	1名	ND ソフトウェア
12月1日	コロナウイルス感染予防について (WEB)	4人	静岡県健康福祉部
12月7日	事業所説明会 (WEB)	1人	静岡県健康福祉部
3月12日	コロナウイルス感染対策講座 (WEB)	1人	静岡県健康福祉部
3月23日	事業所部会	1人	長泉町役場

内部の研修

月 日	研修内容	参加人数	講師
1月22日	虐待防止について	1人	下山施設長
2月5日	虐待防止について	3人	下山施設長

③職員の面談、職場環境等について

- ・年に2回(8月と2月)に職員面談を実施。世話人の困りごととも確認する事ができ、解決の為の提案をすることができた。
- ・会議をグループホームで行う事で GH 内の状況や冷蔵庫等の設備状況を確認する事で世話人の作業環境の改善に努めた。

(3) 地域に関すること

①体験や入居等について

- ・各市町の相談支援事業所との情報共有は必要に応じて実施した。
- ・5月に裾野市(相談支援事業所うぐいす)より入居希望者の情報あり。体験利用を経て入居となった。

②地域のイベントや災害時の取り組みについて

- ・新型コロナウイルスの関係でイベントが中止になり、地域のイベントに参加することはなかった。
- ・災害については、防災委員会でマニュアルの見直し作成を行った。
- ・11月 職員不在時の火災を想定した避難訓練を行った。

(4) 経営に関すること

①安定した経営について

- ・コロナ対応に関する通達文書を確認し、感染症の対応方法の徹底や補助金の申請等を行った。また、コロナに関する法人からの指示事項も、その都度世話人に伝達し、情報の共有に努めた。
- ・令和3年4月の報酬改定の通達文書を確認し、関係職員で共有を図った。

②工夫を図り、無駄をなくすことについて

- ・会議内で利用者小遣いの管理方法や入浴の順番についての検討、また寒い時期の換気の方法について検討をして効率よく行えるようにした。
- ・2月に世話人の手順書を見直し、新しく作成した。

2、その他

(1) 健康管理

- ・日常の通院や個人的な外出等に関して、将来的に自身で対応できるよう声掛け等の支援を実施した。また、必要に応じて、世話人が同行（有料サービス）をした。
- ・コロナ禍で感染症対策を万全にした事もあり、体調を崩す方は無かった。

(2) 家族との関係

- ・家族間の金銭トラブル（家の処分）に関して、保険の解約・金銭分配等の手続きに職員が仲介する事で円満解決に繋がった。
- ・新規入居の利用者に対して、入居前自宅の家財処分・銀行の調整・生活保護申請に係る手続き等、本来家族がすべき事を家族と連携して職員が実施した事でスムーズな入居に繋がった。
- ・その他、必要に応じて家庭に連絡をした。

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
306号室ドアの鍵	22,000円	10/2
302号室台所の蛍光灯	12,100円	3/25
計	34,100円	

(2) 物品購入

302号室のケトル	6,490円
空気清浄機 2台	94,600円

4、固定資産

なし

○ゆううん（相談支援事業所）

1、目標に対する取り組み

（1）利用者に関すること

①相談者の安心につながる支援環境をつくる。

ア、昨年からは担当制を廃止したが、毎朝実施するミーティングで利用者の状況や特性を把握することで、相談者が安心して相談できるよう、相談員を配置した。

イ、昼休みの留守電を廃止し、外部との連携を重視し対応するよう変更した。

ウ、精神科嘱託医との相談日に、ケースの対応方法や症状について勉強させていただき、相談支援に活かしている。

相談件数 ※児童含む

	R1 年度	R2 年度
長泉町内 述べ件数	4573	6983
長泉町内 実人数	278	271

（上記の他、長泉町外について、悠雲寮・ほほえみ&みのり工房利用者及び、三島市の方1名について対応している。

三島市1名については、保護者が三島市で事業所管理者を担っている為、他市町相談支援事業所を希望された為、ゆううんが対応している。）

主な相談内容

	支援内容	R1 年度	R2 年度
①	福祉サービスの利用等に関する支援	4112	5962
②	障害や症状の理解に関する支援	2087	3541
③	健康・医療に関する支援	1147	1740
④	不安の解消・情緒安定に関する支援	1704	1139
⑤	保育・教育に関する支援	448	720
⑥	家族関係・人間関係に関する支援	861	1227
⑦	家計・経済に関する支援	343	473
⑧	生活技術に関する支援	521	660
⑨	就労に関する支援	719	971
⑩	社会参加・余暇活動に関する支援	170	87
⑪	権利擁護に関する支援	15	243
⑫	その他	324	235

- ・1人の相談者に対し1度に複数項目にまたがる支援を実施している。
- ・R2年度、新型コロナウイルスの影響により、余暇支援事業が例年同様の開催ができず、余暇支援において大幅減となっている。
- ・障害者虐待や、成年後見制度申し立てに関する対応が年間通してあった為、権利擁護に関する対応件数が増えている。

②障害者虐待発生時、町と協力して対応する。

外部からの情報の他、相談員が訪問する中で、普段と異なる様子を把握。行政やご家族、関係支援者と協力し、2名については、生活環境を変えることで、再発防止につながった。

通報者：訪問看護師、利用先事業所職員、警察、相談員自身

対応：本人と面談を実施

行政と共同で、家庭訪問実施し家族と面談

使用者虐待を考慮し緊急保護

他サービス利用を提案

引越し、生活環境調整 等

③苦情発生時、丁寧な対応をとる。

R2年度、苦情においては発生していない。

(2)人材に関すること

①相談員一人ひとりの力量を高める為、外部研修への積極的参加と習得内容の共有を図る。

ア、コロナ禍中止となった研修もあったが、zoom やWEB研修が企画された為、受講環境を整え積極的に参加した。

WEB開催の場合、視聴可能期間が設定されていた講座もあり、繰り返し復習できる、申込者以外も視聴できるなどのメリットも感じられている。

外部の研修

月 日	研修名	参加人数	主催者
6月1日	新型コロナウイルスの正しい理解と感染症から利用者、職員を守るためにいまできること (WEB)	1名	静岡県社会福祉協議会
6月15日	障害支援区分認定調査員研修	1名	静岡県健康福祉部障害政策課
7月21日～ 1月29日	令和2年度 相談支援専門員初任者研修	1名	あしたか太陽の丘研修センター (県委託)
8月26日	ICTの活用について (WEB)	1名	ND ソフトウェア
11月17日	高次脳機能障害支援従事者基礎研修 (WEB)	3名	静岡県東部健康福祉センター・御殿場健康福祉センター
11月20日～ 12月7日	成年後見制度理解促進研修 基礎編・応用編 (WEB)	2名	静岡県社会福祉協議会
12月中	コロナウイルス感染予防について (WEB)	5名	静岡県健康福祉部

	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症における福祉・介護現場での正しい感染対策 (WEB) ・福祉施設のための感染症クラスター対策マニュアル (FAQ)」解説動画 (WEB) 		
12月7日～	令和2年度障害児・者福祉サービス事業者説明会 (集団指導9 (WEB))	1名	静岡県健康福祉部障害政策課
12月8日	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 病気をもつ子どもの相談対応勉強会～就労支援制度を学ぶ～ (WEB)	2名	静岡県東部健康福祉センター
12月15日	事業所部会開催 研修会 「町内支援者のスキルアップを目指そう！」	2名	長泉町自立支援協議会事業所部会
12月25日～ 1月8日	日常生活自立支援事業 福祉関係機関との連携強化研修 (WEB)	3名	静岡県社会福祉協議会
2月6日	伊豆医療福祉センター公開セミナー 第2回発達障害を考える会 (WEB)	2名	伊豆医療福祉センター
2月12日	令和2年度駿東・田方圏域重症心身障害児(者)公開ネットワーク (研修会) (WEB)	2名	駿東・田方圏域自立支援協議会重症心身障害児(者)部会

イ、毎月開催している相談マネジメントレビューにて、研修内容の他、業務の中で感じられた効果や有効性について共有し、皆にとって学べる機会を設けた。

また、同会議にて自己研鑽報告書に記載した内容について輪番制で発表していただくことで、他相談員の気づきや知識の共有の場となっている。

②内部コミュニケーションを強化し、個々のスキルアップを目指す。

ア、毎朝開催しているミーティングにて、各相談員の抱える困りも報告しあい、他相談員の意見を求めつつ、ゆううんとしての方針を整理しながら、日々の相談業務にあたっている。

イ、相談支援専門員初任者研修の中で、課題事例について各事業所相談支援専門員から意見をもとめるよう指示が出ていた為、ゆううんで課題事例におけるケース会議を開催した。

研修受講者のみならず、ゆううん全員で事例検討や計画相談の作成方法について学べる機会となった。

ウ、内部の研修

月 日	研修内容	参加人数	講師
10月30日	コンプライアンス研修	5名	下山施設長
1月21日	ファシリテーションについて (事例検討会実施)	4名	渡邊副主任
1月25日	虐待防止研修	5名	下山施設長
3月30日	感情のマネージメント・アサーションについて	4名	林相談員

③職場環境の改善

- ・コロナ禍において家族の不調の際は安心して休んでいただき、出勤者がフォローしあう状況を築くことができていた。
- ・毎日、出勤前後の検温・体調管理
- ・極力対面ではない方法での計画相談を実施。
(郵送、電話、FAX、メール、zoom利用 等)
- ・やむを得ない場合を除き、極力1回15分以内の面談時間と設定
- ・訪問時、体温計とフェイスシールドを持参する

(3) 地域に関すること

- ①支援の中から表出された地域ニーズについて、自立支援協議会に提案する。

毎月開催される自立支援協議会相談支援連絡会に参加。

※相談支援連絡会参加者

行政、町内相談支援事業所3ヶ所

長泉町より委託されている相談支援事業所2ヶ所

8月までは、困難事例を各事業所持ち寄り、その場で発表し課題の積み上げを行っていく方針を進めてきたが、提出される事例数が1開催1.5時間の中で多いときには9件提出される時もあり、報告だけで解決策が得られない状況にあった。

より実践に生かせる対応策の検討ができる場としたいと希望が出たため、9月以降は、以下流れで相談連絡会を開催することとなった。

前半45分：事例検討

「事例提供」「ファシリ」「書記」を輪番制で担当。

提出された事例の対応策について皆で検討。

後半45分：情報共有

各事業所より、困難事例や対応している相談者の傾向、新規事業所情報などを話し合う。

難しいケースについて、様々な角度から意見をいただくことができています。

<ゆううんより提出した事例>

- ・医療的ケアの必要なお子さんのサービス調整及び家族の思いへの対応について
- ・身体障害で医療的処置が必要な方において、ショートステイ先が見つからない。
- ・相談支援事業所に相談は入るが、いざ介入しようとするとう連絡がつかない、家族の障害理解が得られていないケースへの対応方法について。
- ・地域において知的障害ゆえに迷惑行動が繰り返され、被害をうけている地域から脅迫的な声があがっているケースへの対応策。 等

②ハッピーのわ（長泉町障がい者余暇支援事業）を開催し、利用者の満足度を把握。

ア、町内在住・在勤・在学の18歳以上の障害者を対象に余暇支援事業を実施。コロナ禍で、予定していたイベントを中止し、感染リスクが少なくなるような企画を再検討して実施した。結果、感染者を出すことなく、全4回終了。集合形式として開催したが、集まるのは不安だけど参加したいという方の希望を考慮し、郵送やLINEを利用して参加する「リモート参加」も可能とした。

イ、開催後アンケートを実施。コロナ禍でも集まり皆の顔を見ることができてよかった、リモートでも参加してよかったと感想をいただいた。

「カラオケに行きたかった」などコロナ禍ならではの感想も得られている。

R1年度 7回開催 78名 → R2年度 4回開催 52名

利用対象者

町内在住・在勤・在学の18歳以上の障害者で、集合場所まで自力で来て、帰る事ができる方。（自力では移動が難しい方は保護者等の送迎を利用）

R2年度より、町外へ引っ越された方についても、ハッピーのわを楽しみととしてくださっており、ご自身で参加できる方においては、参加可としている。

開催日・内容

※4回開催

内容	日付	時間	場所	参加人数
オリエンテーション	8月22日(土)	13:30~14:30	福社会館	9名
長泉マップを作ろう!①	9月26日(土)	13:30~14:30	福社会館	15名
長泉マップを作ろう!②	10月24日(土)	13:30~14:30	福社会館	14名
長泉マップを作ろう!③	11月14日(土)	13:30~14:30	福社会館	14名

③災害時対応策の検討

ア、内部：法人防災会議に出席。

地震、火災、風水害対応マニュアルの見直しと、事業継続計画を作成。

イ、外部：隔月で開催された、町内自立支援協議会事業所部会に参加し防災について検討した。

R2年度も各地で豪雨、地震による大規模災害が起きている為、長泉町防災担当課と、町の防災対策について学ぶ機会を企画していたが、新型コロナウイルス蔓延により次年度へ持ち越されることとなった。

(4) 経営管理に関すること

①委託事業の予算管理を確実に行う。

(委託業務：相談支援、障がい者余暇支援、自立支援協議会事務局業務)

各委託業務について、都度予算管理表に記載し管理を行うことができた。年度途中、加算請求できていないことに気付き、取り下げ・再請求する対応をとっている。

②指定特定相談支援事業を確実に行う。

今年度も担当制ではなく、相談者にあわせて対応してきた。

事業所との連絡調整においても、相談員同士が連携をとりながら、一人で抱え込まずに、A事業所へ連絡する際3名分の情報を聴き取るなど、協力して対応している。

相談者の特性や他月に比べ対応件数が多い等の理由で、翌月に持ち越す場合もあるが、長泉町と連携をとりながら、着実に対応している。

R1年度 新規計画相談開始人数…24人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談	24	23	20	21	18	12	18	26	0	40	12	15	229
継続相談	12	17	35	18	20	25	9	22	0	34	28	47	267
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	1	1	12
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	0	2	6	2	4	2	1	1	6	6	1	4	25

R2 年度 新規計画相談開始人数…15 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
初回相談	38	39	15	25	12	12	19	15	19	22	14	10	240
継続相談	38	29	40	28	46	35	45	41	38	37	29	46	452
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	2	5	0	3	2	4	0	2	0	3	2	7	30

※地域定着：継続 1 名 緊急対応：3 件

※地域移行：R2 年度利用なし

※計画相談について

ゆううん請負分の計画相談作成率は 100%達成している。

長泉町全体の達成率は成人 93.0%、児童は 100%。

福祉サービスは利用しているが、計画相談が始まる前から障害福祉サービスを利用されていた方の中に、計画相談を拒否される方がいるため、成人達成率が上記状況となっている。

③業務の効率化を図る。

ア、手順書を整備することで、担当者不在等の不足の事態に備えた
令和 2 年度に整備した手順書

- ・ 運行簿管理手順
- ・ 相談ミーティング録作成手順
- ・ 業務日誌入力、管理手順
- ・ ハッピーのわ運営手順
- ・ 自立支援協議会運営手順
- ・ 月末報告書作成手順
- ・ 請求手順（見直し）

手順書を見直したことで、分業する方が効率的と明確になった業務がある。
分業した結果、協力しあい、期日に間に合うよう対応できたり、担当者の負担軽減につながった。

イ、環境整備

- ・ 新型コロナウイルス補助金により、タブレットを 2 台整備。
- ・ 1 件 zoom を利用した面談を実施。
- ・ 業務上、外出が続くスケジュールの際、外出先で記録を入力でき、事務処理の効率化につながってきている。
- ・ 面談の中で、タブレットを利用した施設案内ができるよう整備を進めている。（コロナ禍、施設見学に行けない状況も考慮）

2、その他

長泉町障がい者自立支援協議会事務局業務

今年度は、新型コロナウイルスの流行の中、運営会議及び各専門部会、相談支援連絡会について集合形式で開催すること自体を検討しつつ、流行状況をみながら流動的に開催している。定期的な開催が難しい状況だったが、各部会開催における準備、感染予防策をとった研修会開催企画など、行政と連携をとりながら対応することができた。

これまで、自立支援協議会の手順書というものがなかったが、事務局業務を文書化し、ゆううん皆で対応できる状況を整備するところまで至った。次年度、手順書を参考に業務を進めていく。

<開催状況>

運営会議：隔月第3木曜（13：30～15：00）

内容 相談連絡会・各専門部会の報告
近隣市町障害福祉連絡会の報告
全体会開催における調整
運営会議の位置づけの再検討 等

全体会：第1回 10月13日 14時～15時 感染予防策として1時間開催

内容 運営会議・専門部会からの活動報告
協議委員の近況報告
地域生活拠点について（報告）
障害児者福祉計画について（報告）

第2回 2月9日を予定していたが、新型コロナウイルス蔓延に伴い、書面開催へ変更

内容 運営会議・専門部会からの活動報告
協議委員の近況報告
障害児者福祉計画について（報告）

専門部会：事業所部会…隔月第3火曜（13：30～15：00）

内容 障がい者週間について
新型コロナウイルスへの対応について
被災時の対応について
スキルアップ研修
部会目的について再検討 等

子育て部会…隔月第3水曜（13：30～15：00）

内容 福祉制度の勉強会
グループワーク…町内の課題について検討 等

相談支援連絡会…毎月第3水曜日（13：30～15：00）

内容 事例検討会（困難事例、地域課題含む）
各事業所より情報共有
他市自立支援協議会へ参加。目的の見直し実施 等

3、施設整備の補修及び器具備品購入等

(1) 維持補修

なし

(2) 物品購入

備品

携帯電話	2台	57,816円
------	----	---------

(1台は相談員1名増えたため、1台は故障のため)

冷蔵庫	1台	35,316円
-----	----	---------

非接触赤外線体温計	3個	49,500円
-----------	----	---------

(1台はハッピーのわにて購入、2台は新型コロナウイルス補助金にて購入)

デジタルレタースケール	1個	4,840円
-------------	----	--------

ホワイトボードシート	1巻	4,235円
------------	----	--------

裁断機	1台	14,520円
-----	----	---------

キーボードスライダー	5台	64,680円
------------	----	---------

タブレットバック	2個	3,598円
----------	----	--------

タブレットケース	2個	8,316円
----------	----	--------

デジタルカメラ	1台	20,955円
---------	----	---------

感染防止用カーテン	1セット	33,000円
-----------	------	---------

(相談車両3台にカーテン、アクリル板を設置)

雷ガード	1台	18,524円
------	----	---------

コードレス電話機	1台	48,950円
----------	----	---------

○ほほえみ&みのり工房

1、部門目標に対する取り組み

(1) 利用者に関する事 (サービスの質の向上)

家庭・病院・各市町・嘱託医相談支援事業所と連携を図り、利用者の生活面に配慮し、課題解決に繋がる支援に努めた。

①利用者支援 (個別支援計画)

- ・就労継続B型は6ヶ月に1回、就労移行・就労定着は3ヶ月に1回の面談を行い、支援状況や要望の確認を実施。個別支援計画に反映した。
- ・利用者個々の体調や作業の取り組み具合を考慮し、新しい作業への挑戦の機会を設定した。
- ・新型コロナの不安から通所できない利用者11名に対して、在宅支援を実施した。

②作業の効率化、工賃アップ

- ・毎週の作業会議の中で利用者個々が持つ能力を確認しながら、作業工程等の工夫や改善に努めた。
- ・コロナ禍で下請け作業の資材減少と地域イベント中止で販売場所が激減。売上維持の方策として布マスク販売や、パン・菓子の週末セットを考案。近隣の企業や特別支援学校に注文販売等を行った。

〈提供作業〉

	場所 (内容)	R1 年度売上	R2 年度売上	増減	
施設内作業	パン作業	パン製造・販売	7,786,490 円	8,923,460 円	+1,136,970
	菓子作業	焼き菓子製造・販売	7,854,550 円	8,671,539 円	+816,989
	下請け作業	箱折・ビニール拭き・役場、企業受託作業	2,431,931 円	1,080,555 円	-1,351,376
	ランチ作業	水・木曜 昼食提供	1,225,410 円	1,495,798 円	+270,388
	縫製作業	マスク 雑巾 保育園用品製造・販売	256,200 円	1,150,350 円	+894,150
施設外作業	農作業	野菜販売	3,156,489 円	2,606,227 円	-550,262
	清掃作業	長泉町浄配水場・役場駐車場・その他委託場所 (草刈り 清掃 他)			
	園芸作業	役場・清掃事業所・浄配水場・その他委託場所 (花壇管理)			
	施設外作業	邦栄商興株式会社 (清掃業務補助) セキトランスシステム (作業補助)	1,732,500 円	2,899,440 円	+1,166,940
その他	イベント販売 (飲み物、ポップコーン 他)	288,113 円	150,474 円	-137,639	
合 計		24,731,683 円	26,977,843 円	+2,246,160	

〈令和2年度 利用者工賃〉

	R1 年平均工賃	R2 年平均工賃	最高額	最低額
就労移行支援	20,796 円	19,770 円	40,665 円	500 円
就労継続支援B型	17,213 円	17,501 円	51,325 円	90 円

※平均工賃について、週1回や月数回通所という方が12名。平均工賃を下げている。

③虐待関係

- ・マネジメントカメラを随時確認したが、虐待は発見されなかった。作業支援に関する苦情やトラブルもなかった。

④環境整備

- ・事故に繋がらないよう、定期的に事業所内の環境確認を実施した。

(2) 人材に関する事

①ルール of 明確化、業務 of 効率化

- ・各種業務の手順書を確認し、その都度状況に合わせた内容に更新した。
- ・翌週 of 予定を確認、組み立てるために、毎週作業会議を実施。忙しい作業には職員を多く配置する等、職員が協力して業務を遂行できるように配慮した。

②外部・内部研修

- ・外部研修 15 の研修に 43 名の職員が参加。

令和 2 年度はコロナ禍でオンライン研修が主流だった為、通常業務 of 合間を使った参加が可能となり、普段参加できない職員も参加する事ができた。

〈外部 of 研修〉

月 日	研修名	参加人数	主催者
6/16	長泉町障がい者自立支援協議会 事業所部会	1 名	長泉町福祉課
7/15.17.21	就労支援基礎研修	1 名	障害求職者雇用支援機構
6/1	社会福祉法人運営管理研修会 (WEB) (新型コロナウイルス of 正しい理解)	2 名	静岡県社会福祉協議会
8/26	ICT 活用について (WEB)	4 名	ND ソフトウェア
9/10	施設事務職員経理応用講座 (WEB)	1 名	静岡県社会福祉協議会
9/15	長泉町障がい者自立支援協議会 事業所部会	1 名	長泉町福祉課
9/24	予算管理講座 (WEB)	2 名	静岡県社会福祉協議会
10/28	会計実務専門講座 引当金について (WEB)	2 名	静岡県社会福祉協議会
11/19	サービス管理責任者 更新研修	1 名	静岡県障害政策課
11/25	社会福祉法人における消費税実務 (WEB)	1 名	静岡県社会福祉協議会
12 月	福祉施設 of 為 of 感染症クラスター対策 マニュアル (WEB)	16 名	静岡県健康福祉部
12/7	令和 2 年度福祉サービス事業者説明会 (WEB)	4 名	静岡県福祉指導課
12/15	町内支援者 of スキルアップを目指そう	2 名	長泉町自協事業所部会
3/11	社会福祉法人 決算実務講座 (WEB)	2 名	静岡県社会福祉協議会
3/22	農副連携 基礎研修 (WEB)	3 名	オールしずおか

〈内部 of 研修〉

月 日	研修名	参加人数	講師
4/30	火災時避難 of 手順について	1 6 名	防災担当職員
5/25	災害伝言ダイヤル利用方法	1 6 名	防災担当職員
5/25	虐待研修	1 6 名	支援課長
6/30	感染症研修 (新型コロナウイルス含)	1 6 名	支援課長
8/31	職場 of マナーについて	1 6 名	支援課長
9/28	AED 研修	1 6 名	防災担当職員
10/26	職場 of コンプライアンスについて	1 6 名	施設長
11/30	社内手順について	1 6 名	支援課長
2/17	防災備品について	1 5 名	防災担当職員
2/22	令和 3 年度報酬改定について	1 5 名	支援課長
2/22	虐待研修	1 5 名	施設長
3/31	令和 3 年度について (事業計画・手順書確認)	1 5 名	施設長・支援課長

③職員面談

- ・職員全員に対し、年2回（8月、2月）の面談を実施。面談で挙げた業務上の要望や提案は職員会議等で共有し、業務の効率化に繋げた。

④新人職員教育

- ・採用1年未満の職員に対し教育担当職員を配置。教育状況に関しては毎月の調整会議で報告を受け、面談に反映した。

(3) 地域福祉ニーズへの対応

①地域のお祭りや行事に積極的に出店

	行事名	回
4月	裾野社協販売	3
5月	裾野社協販売	3
6月	裾野社協販売 鴻池運輸販売	5
7月	裾野社協販売 鴻池運輸販売	5
8月	裾野社協販売 鴻池運輸販売	5
9月	鴻池運輸販売 モクオハナ販売	3
10月	鴻池運輸販売 モクオハナ販売	3
11月	鴻池運輸販売 モクオハナ販売 民生販売 シニアクラブ販売	5
12月	鴻池運輸販売 モクオハナ販売 民生販売 ココット長泉販売	5
1月	鴻池運輸販売	1
2月	鴻池運輸販売 民生販売	3
3月	鴻池運輸販売 民生販売	3

②地域の方の福祉ニーズに対応する

- ・長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会に参加。

町内の福祉事業所が集まり、地域生活支援拠点の整備や災害発生時の対応、利用者支援の中での困り等の情報共有。

〈体験学習等の受け入れ〉

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
長泉北中学校（支援級）	4回	16人	作業学習
沼津特別支援学校（高等部）	20日間	40人	職場実習
御殿場特別支援学校（高等部）	8日間	8人	職場実習

〈ボランティアの受け入れ〉

所 属 等	年間回数	延べ人数	内容
地域の方々	26	26	作業の手伝い
マムズ	11	11	作業の手伝い

③非常災害対策の強化

- ・法人内障害事業所防災会議を隔月で実施。地震、火災、風水害対応マニュアルの見直しと事業継続計画を作成した。

〈防災訓練実施内容〉

	訓練内容		訓練内容
4月	火災想定避難訓練	10月	火災想定避難訓練 災害伝言訓練
5月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練	11月	起震車体験
6月	送迎時想定伝達訓練	12月	
7月	消火器訓練（職員のみ） 地震想定避難訓練 災害伝言訓練	1月	地震想定避難訓練 災害伝言訓練
8月	火災想定避難訓練 災害伝言訓練（閉所日想定）	2月	防災備品確認
9月	地震想定避難訓練	3月	火災想定避難訓練

（４）安定した経営

①感染症対策を万全にし、利用者の通所率アップ（収入アップ）を図る

- ・新型コロナ感染の不安から通所できない利用者に対して、在宅支援を実施した。
（要件を満たす事で通所扱いとなり、利用率は上がった）
- ・インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス等の感染者数はなかった。

〈通所内訳、前年度比較〉

	定員	延べ登録者	通所人数／日	延べ利用者数	令和1年度 延べ利用者数	比較
就労移行支援	6名	16名	7.8名/日 ※1	2,086人	2,132人	-46人 ※2
就労継続B型	34名	48名	36名/日	9,647人	9,387人	+260人 ※3
就労定着支援	—	8名	—	59人	59人	—

※1→最大9名まで受け入れ可能。常に9名になるように調整した。

※2→精神面の不調から週3日利用の方が1名。

※3→5～6月コロナ感染の不安から通所できない利用者11名に対し在宅支援を実施。

在宅支援→自宅で出来る就労訓練を提供。

職員による1日2回の訓練状況、体調等の確認を実施（対面、電話）

②日々の生活の中で無駄をなくし支出を抑える。

- ・会議にて毎月の水光熱費の使用状況を報告。温水やエアコンの使用方法について検討しながら経費削減に努めた。

（５）就労支援

①個々に適した就労先の開拓

- ・利用者の作業面、身体面、精神面を考慮した中で企業見学・実習を提案。
令和2年度の就職者は2名。

〈令和2年度の企業見学・実習先〉

企業名	見学	実習	人数	備考
鴻池運輸	○	○	3	6月に1名採用 9月に1名採用
アルムメディカルサポート		○	1	
ル・グランガーデン御殿場		○	1	
オートベル沼津インター		○	1	
ウェルシアオアシス		○	1	

②就職者に対し、企業と連携を取り職場定着を図る

- ・これまでに就職している企業に対し定期的に連絡、訪問を実施し、就職した方や企業側の問題点・課題を確認、解決に繋がる支援を実施。

※退職者が2名。本人の体調面、精神面の不調から欠席が続いた。

企業と話し合いもしてきたが、本人の強い希望で退職に至った。

現在はほほえみ&みのり工房通所。

〈職場定着実施企業〉

企業名	就職者	職種	就労定着支援事業
フジ産業(株) がんセンター内	1名	厨房補助	
東レ(株) 三島工場	3名	清掃作業	
(株)日本ケアクオリティ(高齢者施設)	1名	施設内清掃	
裾野市鈴木図書館	1名	本の配架	
矢崎ビジネスサポート	1名	施設内清掃	
田沢医院	1名	病院内清掃	
富士通ハーモニー(株)	1名	PDF処理	
(有)清栄	1名	ホテル清掃	
リコーエスポアール(株)	2名	商品梱包	1名
福山通運(株)	1名	荷物積み込み	1名
(株)エクレ	1名	建物内清掃	1名
フルーツパーク	1名	食品加工	
長泉ホーム	1名	調理補助	
ふれあい伏見(高齢者施設)	1名	施設内清掃	1名
(株)鴻池運輸	3名	容器仕分け	3名
マクドナルド 246長泉店	1名	調理補助 清掃	1名

2、その他

①施設行事

コロナ禍で外出自粛等、日々我慢が多い中でも作業へのモチベーションアップの為に感染症対策を万全にして実施した。

- ・6月10日 そうめん大会(コロナ禍でゲーム大会に変更)
- ・9月2日 納涼かき氷大会
- ・10月21日 ハロウィンイベント
- ・12月23日 クリスマスランチ
- ・1月13日 鏡開き・成人を祝う会
- ・3月31日 1年お疲れ様会

②新型コロナ含む感染症対策

- ・毎日の朝礼・終礼にて手洗い・手指消毒・マスク着用等の感染症予防を促した。
- ・新型コロナウイルスに関する県や国からの情報確認を行った。得た情報は利用者含む施設全体で把握できるように会議等で伝達した。
- ・事業所内の換気・消毒の徹底。
- ・利用者通所時の検温実施(自動体温測定器)
- ・利用者長期休暇時の健康チェック表の徹底
- ・県や国からのコロナ対策に関する補助金等を活用。

(作業用マスクの購入、食堂アクリルパーテーション設置、消毒類購入等)

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

①自動火災報知設備受信機内バッテリー取替	26,400 円
②テレビアンテナ緊急修理	34,496 円
③洗濯排水つまり修理	23,100 円
④2F 女子トイレ洗面台側 タンク修理	17,600 円
⑤マネージメントカメラ冷却ファン 2 個交換	64,570 円
⑥合併浄化槽 ばっ気ブロアー交換	152,900 円

(2) 物品購入

①2F 食堂 電気温水器 (湯ぽっと)	217,800 円
②2F 食堂 55 インチテレビ	204,820 円
③1F ホール 55 インチテレビ	380,600 円
④Surface 2 台	377,080 円

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 新型コロナウイルスの影響により、4月初旬から5月末にかけて、休園(5月は条件を満たした園児のみの希望保育)となった。この期間中に行った保育の質向上のための取り組みは以下の通り。
 - ・ Web を利用した保育内容(読み聞かせ、歌、ダンスなど)の配信
 - ・ 園舎内、玩具の除菌、消毒作業
 - ・ 園庭環境の改善、改修
 - ・ 園舎内整理、環境のアップデート
 - ・ 園内研修
- ② 外部研修が軒並み延期、中止となり、参加することがほとんどできなかった代わりに、職員からの要望を吸い上げ、内部研修の充実を図った。保育の質以外にも、保護者対応や接遇マナー、問題解決能力の向上を図ることができた。全体的な計画や年間計画、月案、週案などの見直しは継続して行った。
- ③ 子どもの主体性を引き出し、対話的な保育となっているか、また、子どもの興味や発達に沿った計画になっているかを検討し、必要に応じ変更を行った。また、4、5月で園内・園庭の環境の整備が大幅に進み、休園後の園児受け入れも問題なく行えた。支援を必要とする園児には、これまで同様、個別に支援計画を作成し、行政とも連携を図りながら個々に援助を行った。月に1度の職員会議は、なるべく短時間で終え、保育内容やリスクマネジメントについて議論する時間を作るとともに、クラスごとの業務に充てる時間を増やした。
- ④ マネジメントカメラを活用し、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。果樹園のカメラも利用し、安全面の充実を図った。
- ⑤ ドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)での情報発信に加え、「おうちえん」という Web サービスの利用を開始。コロナウィルス感染 止対策として、運動会や生活発表会などの行事を動画で配信した。保護者からは好意的な声が多く聞かれた。
- ⑥ ICT システムの活用や、業務の細かな分担、年次有給休暇の積極的取得により、働きやすい職場作りを行った。登降園チェックシステムを新たなサービスに変更し、使い勝手は良好であった。0.1 歳児の睡眠チェックツール「ルクミー」も業務省力化につながっている。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を継続的に見直し、職員会議にて伝達した。伝達漏れをなくすために昨年度導入したスマートフォンアプリ SLACK は非常に使いやすく、職員も上手く使いこなしている。
- ② 外部研修にはなかなか参加できなかったが、数少ない zoom 研修などを受講し、そこで得た知識や情報は SLACK や毎月の職員会議で報告した。園内研修チームが中心となり、職員からの要望に沿った園内研修も企画、実施された。
- ③ 園内研修や研修報告では、一方的な講義だけでなく双方向の意見交換の場も設け、皆が参加者となれる形を模索した。

(3) 地域との連携

- ① 法人行事への参加(主に年長)や法人内他施設との交流は自粛となった。例年行っている桃沢幼稚園との交流も今年度は見送る形とした。
- ② 長泉町役場こども未来課、その他の行政機関との連携は例年通り行った。短大生や看護学生の実習受け入れに関しては、十分な対策を取った上で、学校とも協議をしながら慎重に行った。

(4) 安定した経営

- ① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。発注時期を決め、発注回数を減らし、管理のしやすさも求めた。
- ② 長泉町役場と連携を取り、4月の園児数 98 名から、年度末は 104 名まで受け入れを拡大した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	1日	進級式(在園児のみ)
	2日	入園式※園庭にて実施
	11日	第1回父母の会総会・参観会→中止、書面にて報告、決議
5月	22日	親子遠足(3歳以上児)→中止
6月	1日	園児受け入れ開始
	4日	歯みがき指導(年中・年長)
	12日	第1回オープン参観→中止
	12日	ジャガイモ掘り

7月	7日	七夕のつどい
	16日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	25日	このはな夏祭り→中止
8月	1日	長泉わくわくまつり→中止
	13～16日	希望保育
	19日	夏祭りイベント2020→動画配信
9月	1日	防災引き渡し訓練
	2日	一斉見学会①
	8日	交通教室(3.4.5歳児)
	16日	一斉見学会②
	17日	歯科検診(服部歯科医院・服部先生)
10月	3日	このはな運動会→中止
	7.8日	運動会2020バージョン→動画配信
	13日	さつまいも掘り
	8日	交通教室(3.4.5歳児)
	27日	新入園希望児面接
11月	11日	起震車体験
	12日	焼き芋大会
	20日	祖父母参観会→中止
12月	5日	このはな発表会→0.1歳は配信、他2部制にて実施
	18日	もちつき大会→おもちゃを食べようの会に変更
	23日	クリスマス会
	30日～31日	休園日
1月	1日～3日	休園日
	5日	新年の集い
	21日	内科検診(山本整形外科・循環器科 山本先生)
2月	3日	節分のつどい
	9日	第2回オープン参観→中止
	16日	交通教室(5歳児のみ)
	26日	修了写真撮影
3月	3日	入園説明会
	6日	お別れ遠足(年長)→お楽しみ会(保護者参加)に変更
	12日	そら組さんありがとうの会
	13日	第2回父母の会総会→2部制
	26日	修了式
	27日	卒園式(20名卒園)
	31日	希望保育(次年度準備)

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	7	17	17	16	22	19	98
5月	7	18	17	16	22	19	99
6月	7	18	17	16	22	19	99
7月	9	18	17	16	22	19	101
8月	11	18	18	16	22	19	104
9月	11	18	18	16	22	19	104
10月	11	18	18	16	22	19	104
11月	12	18	18	16	22	19	105
12月	12	18	18	16	22	19	105
1月	13	18	18	16	22	19	106
2月	13	18	18	16	22	19	106
3月	13	17	17	16	22	19	104

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時)
- ③ 連絡帳でのやりとり
→0.1.2歳児:園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児:必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④ かんたんメールシステムを利用し、お知らせ、重要事項の確認などを行った。
- ⑤ ブログの更新、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を掲示。
- ⑥ 動画で園児の様子を配信。(主に行事)
- ⑦ 休園期間中に、担任による家庭訪問、電話連絡。

6. 延長保育利用実績

- ① 18時以降の利用は延長保育とした。
- ② 利用料金 18時～18時29分 → 200円
18時30分～19時 → 500円
- ③ 利用人数は延べ916人。延長料金は年間で252,600円であった。

7. 一時預かり事業

(1) コロナウイルス感染症対策として、今年度は一時預かり事業を見合わせた。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
厨房	51,700	厨房エアコン改修工事
職員室・遊戯室	41,800	引戸戸車取替
2階幼児用トイレ	25,300	トイレ漏水修理工事
各所	16,500	6か所コンセント取替工事
グランド出入口	16,390	伸縮門扉補修工事
1階フロア	11,000	床暖房修理工事
計	162,690	

(2) 物品購入

固定資産

- ① 出退勤管理及び検温記録レコードアプライアンス 2台 550,000円
- ② 樹木植栽(園庭中央) ケヤキ 一式 220,000円

備品

- ① 大型加湿器 5台 175,000円
- ② メッシュ式スクエアパラソル 2個 165,000円
- ③ カメラ用パソコン内冷却ファン 4個 102,740円
- ④ 園児の食器 一式 96,494円
- ⑤ 樹木植栽(果樹園) ジューンベリー 1本 99,000円
- ⑥ 樹木植栽(果樹園) ストロベリーグアバ 1本 60,500円
- ⑦ 樹木植栽(果樹園) オリーブ 1本 60,500円
- ⑧ アルミ避難車 2台 40,700円
- ⑨ スチール台車 2台 34,333円
- ⑩ 厨房フライヤー部品 一式 32,560円

社会福祉法人静香会令和2年度年度事業報告附属明細書

該当事項ありません